

## 1 経歴

私は、(趣味活動の団体など)に所属し、(団体内での役職など)として、(継続年数)年以上(趣味の内容)に取り組んでおります。私は、(職歴や学歴など(例)〇〇社に〇〇年勤続し、〇〇の事業に大きく貢献してまいりました)。その傍ら、(趣味のきっかけ)を機に(趣味)に力を入れるようになりました。具体的には、(端的な活動内容など(例)週に〇〇回〇〇に通い、月に一度仲間と共に成果を発表しあって)きました。

(年別の実績などあれば(例)2015年には〇〇の大会に出場し、優勝しました)

現在も、私は(今の目標など(例)次の大会で優勝)すべく、日頃より(活動内容)にこしんでおります。

## 2 私が受けた損害について

私は、前述しましたように、(所属団体)の(役職)であり、自らの(目標など)を達成すべく、日ごろより(活動内容)に尽力してまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大による日本国政府の緊急事態宣言を受けて、(期間(例)令和2年4月6日から5月30日までの間)、(できなかった日常的な活動)の自粛を余儀なくされるとともに、(役職固有の問題などあれば)せざるを得なくなりました。加えて令和3年1月に出された緊急事態宣言を受け、再び(活動)が困難になりました。

上記期間中を除いても、新型コロナウイルスに感染するリスクを避けるため、〇〇や〇〇といった大規模なイベントは行うことができなくなったほか、(自粛の影響で人出が減少したことにより〇〇は思ったほどの効果があがりませんでした。)(そのほかコロナ関係の問題がありましたら具体的にお書きください)

また、(発表の機会の消滅など(例)〇〇年〇月〇日に予定されていた〇〇の大会も中止となり)、(趣味の内容)を満足に行うことができませんでした。

(自粛期間の重要性などあれば(例)上記の自粛期間は、〇〇年〇月の〇〇大会を控えた特に重要な時期であり、私にとって自身の(やりたかったこと)のために非常に重要な期間であったにもかかわらず、かかる期間に(活動内容)を制限されたことによって著しい影響を受けました。)

(趣味内容(例)サッカーをする、旅行に行く、など動詞で終わらせてください)自由は憲法13条により保障された重要な権利であり、私としても、(趣味に対する意気込み

(例)自身の一生をかけて取り組んでいる)極めて重要なものです。かかる〇〇の自由(上と同じ)により保障される(活動内容)を制限されたことで私が受けた精神的損害は計り知れないものであります。